

2018 年秋学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
中心的なビジョン

メッセージ 10

キリストが神の永遠のエコノミーの中心性と普遍性であることに関して、
イザヤが見たビジョン、言葉、託宣

聖書：イザヤ 9:6. 40:28-31. 42:1-4. 53:5. 55:6-13

- I. イザヤは「ヤハの救い」を意味します。イザヤ書は、すべての預言書の中の主要な書です。その主題は、肉体と成り、十字架につけられ、復活し、昇天し、再来するキリストを通して与えられるエホバの救いです。本書は、イザヤの見たビジョンであり（1:1）、イザヤの見た言葉であり（2:1）、イザヤの見た託宣（直訳は、負担）であり（13:1. 15:1）、それは、キリストが神の永遠のエコノミーの中心性と普遍性であることに関してです（9:6. 53:1-12. 40:10）：
- A. イザヤ書は宇宙の歴史を啓示しています。それは、神の当初の創造から、サタンの反逆を経過し、キリストが手順を経て、神の法理的な贖いと彼の有機的な救いを完成して、キリストのからだを生み出し、建造することを経過し、そして神の王国をもたらし、新しい天と新しい地における新エルサレムへと至ります——22 節前半. 45:18. 14:12-14. 53:5. 12:2-3. 65:17。
 - B. イザヤの預言には霊的な本質があります。それは、神聖な定められた御旨のために手順を経たキリストが、神聖な三一の動きの大いなる車輪の中心性と普遍性であり、彼ご自身の神聖な分与、すなわち、彼の選びの民の中へと彼ご自身を分与することによって、彼のエコノミーを完成するということです——参照、エゼキエル 1:15。
- II. イザヤ書において、イスラエルに対する神の愛は、三重の方法で施されています。すなわち、御父として（1:2-3. 63:16. 64:8）、養う母として（66:12-13）、夫としてです（54:5）：
- A. 神は、彼が何であるかにしたがって人を対処します。彼は聖なる方、また義なる方です——1:4. 24:16 前半。
 - B. 彼は聖なる方として、ご自身の民を懲らしめます。それは、彼らが聖となるためです（ヘブル 12:10）。彼は義なる方として、諸国民を裁きます。なぜなら、彼らは公正でなく、義でないからです（イザヤ 26:13）。
 - C. 神がご自身の愛するイスラエルを愛の中で対処することと、諸国民に対する彼の義なる裁きは、キリスト、すなわち、救い主をもたらします——43:3. 49:26。
 - D. 神聖で、霊的で、天的な哲理が、イザヤ書を支配しています：
 - 1. イスラエルに対する神の懲らしめと、イスラエルに対して過度な行動を取った諸

国民に対する彼の裁きは、三つの事をもたらします。すなわち、イスラエルが神に戻されること、創造されたものが復興されること、すべてを含むキリストがもたらされることです。

2. イスラエルが神に向きを変えるとき、万物は復興されます。その後、すべてを含むキリストがもたらされます。これが、イザヤ書を、特に最初の三十九の章を支配している神聖で、霊的で、天的な哲理です。

Ⅲ. 六十六の章があるイザヤ書は、六十六の書がある聖書全体の代表です：

- A. 前半の区分（第 1 章—第 39 章）は、神の愛するイスラエルに対する神の行政上の対処と、諸国民に対する彼の罰する裁きに関係があります。それは、イスラエルが神へと戻され、すべてを含むキリストが、期待される万物の復興と共に、もたらされるためです（11:6-9. 35:5-6. 参照、マタイ 19:28. 10:1. ローマ 8:19-23）。
- B. 後半の区分（イザヤ第 40 章—第 66 章）は、エホバが彼の愛する民であるイスラエルの心に語った慈愛の言葉です。この言葉は、エホバのしもべとしての贖い救うキリストに関する預言者のビジョンを明らかにします。また、キリストがイスラエルと諸国民に対して、すべてを含む救いと、万物の完全な復興とをもたらす、新しい天と新しい地において究極的に完成することを啓示します。

Ⅳ. イザヤ書が啓示しているのは、三一の神が永遠から出て来て、時間の中へと入り、彼の神性をもって人性の中へと入り、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天という手順を経過して、神のエコノミーを完成し、キリストのからだとしての召会を生み出し、建造し、王国時代をもたらす、新しい天と新しい地における新エルサレムにおいて究極的に完成するということです：

- A. イザヤ書が啓示しているのは、キリストの先駆者がキリストのために道を備えているということ— 40:3-5。
- B. イザヤ書が啓示しているのは、三一の神の具体化としてのキリストが胎に入ることとその誕生です— 7:14. 9:6-7。
- C. イザヤ書が啓示しているのは、キリストの人の生活です— 7:14-15. 40:9 後半. 53:2-3. 61:1-2 前半. 9:2. 49:5 前半. 42:1-4. 11:1-2。
- D. イザヤ書が啓示しているのは、キリストの十字架です— 53:4-10 前半, 12 後半。
- E. イザヤ書が啓示しているのは、キリストの復活です— 10 後半-11 節。
- F. イザヤ書が啓示しているのは、キリストの昇天です— 52:13. 53:12 前半。
- G. イザヤ書が啓示しているのは、キリストの再来です— 40:10. 64:1。
- H. イザヤ書が啓示しているのは、キリストの来たるべき王国です— 2:2-5. 11:6-9. 35:1-10. 30:26。
- I. イザヤ書が啓示しているのは、キリストの永遠の新創造です— 65:17。

Ⅴ. イザヤ書が啓示しているのは、キリストのすばらしいパーソンです：

- A. キリストは、肉体と成った救い主、十字架につけられた贖い主、復活して命を与える方、昇天した勝利者、来たるべき王です— 9:6. 53:5, 10 後半-12. 40:10。
- B. キリストは、エホバの光です— 2:5. 9:1-2. 49:6 後半。
- C. キリストは、エホバの若枝と地の実です— 4:2。
- D. キリストは、王、万軍のエホバです— 6:1-8。

- E. キリストは、わたしたちと共にいる神です—— 7:14. 8:8, 10. 40:9 後半。
- F. キリストは、不思議です—— 9:6。
- G. キリストは、わたしたちの助言者です—— 6 節。
- H. キリストは、大能の神と永遠の父です—— 6 節。
- I. キリストは、平和の君です—— 6 節。
- J. キリストは、わたしたちの聖なる所、わたしたちの住まいです—— 8:14 前半。
- K. キリストは、ダビデの父であるエッサイの根から出る枝です—— 11:1-9。
- L. キリストは、もろもろの民の旗印、諸国民の旗です—— 10-16 節。
- M. キリストは、わたしたちの力また歌、救いの泉、エホバの救いです—— 12:2-6。
- N. キリストはわたしたちの王として、わたしたちの永遠の岩、わたしたちの救い主、護衛者、教える方です—— 16:5. 24:23. 26:3-4. 17:10. 30:29. 19:20. 30:20-21。
- O. キリストは、神の家の執事、ダビデの家のかぎを持つ方です—— 22:15, 20-24. 啓 3:7。
- P. キリストは、確かな場所に打ち込まれた釘です——イザヤ 22:23。
- Q. キリストは、わたしたちの栄光の冠とわたしたちの美の王冠です—— 28:5。
- R. キリストは、神の建造の礎と隅の石です—— 16 節。
- S. キリストは、風を避ける避け所、暴風を避けるおおい、乾いた所にある水の流れ、荒廃した地にある大きな岩の影です—— 32:2。
- T. キリストは、エホバの御腕です—— 53:1。
- U. キリストは、わたしたちの夫です—— 54:5-7。
- V. キリストは、彼の人性において悲しみの人であり、わたしたちの贖い主となります—— 53:3。
- W. キリストは、ダビデへの確かなあわれみです—— 55:3。
- X. キリストは、もろもろの民への証人、指導者、命令する者です—— 4 節。
- Y. キリストは、わたしたちの避け所、わたしたちの地、わたしたちの聖なる山です—— 57:13 後半。
- Z. キリストは、エホバの御使い、彼の面前の御使いです—— 63:9。
- VI. イザヤは、神の目標としての神の建造について語っています。召会と、その究極の現れである新エルサレムは、エホバの美の家です—— I コリント 3:9, 12前半. 啓 21:3, 18-22 :**
- A. エホバの家は彼の住まいとして、神と人とのミングリングまた相互の住まいです——イザヤ 57:15. 66:1-2. ヨハネ 14:2, 20, 23. 15:4. I ヨハネ 4:13。
- B. 「わたしはわたしの美の家を美しくする」——神は、ご自身をわたしたちの中へと分与することによって、わたしたちを美しくします——イザヤ 60:7 後半。
- C. 「エホバ・あなたの神……イスラエルの聖なる方……彼があなたをすでに美しくされた」—— 9 節後半。
- D. 「わたしの聖なる所を美しくする。わたしは、わたしの足場を栄光あるものとする」—— 13 節後半。
- E. 「エホバがあなたにとって永遠の光となり、あなたの神があなたの美となられる」—— 19 節後半 :
1. わたしたちは新エルサレムとして、エホバのしもべであるキリストの中で、エホ

バを永遠の光として享受します—— 19-20 節. 啓 21:23. 22:5。

2. 復興の時、神はキリストの中で、わたしたちの栄光と美となり、わたしたちはキリストの栄光と美となります。このようにして、神と彼の選ばれた人は、互いに栄光と美を得ます——イザヤ 60:21. 61:3 後半. エペソ 3:21. 参照、出 28:2。
3. これは、神聖な分与によって完成されます。この神聖な分与は、贖い主また救い主としてのキリストがご自身を、命を与える霊と言葉として、神の民の中に置くことを通してなされます——イザヤ 59:21. エペソ 5:26-27. 雅 1:10-11。

VII. イザヤは、神の建造のためにキリストを享受することについて語っています：

- A. わたしたちは、わたしたちの墮落した状況の啓示と、栄光の中にあるキリストの啓示を見る必要があります—— 1:18. 57:20-21. 64:6-8. 6:1-8。
- B. わたしたちは、心を主に向け続けて、偽善から救われる必要があります—— 29:13. 45:22。
- C. わたしたちは、主を注入される必要があります。彼は、わたしたちの命の力と、増し加えられた強さです—— 40:28-31. 12:2-4。
- D. わたしたちは、エホバを尋ね、彼と彼の言葉に帰る必要があります。彼の言葉は、雨や雪のようであり、彼の考えていることと道をもってわたしたちの思いを新しくします—— 55:6-13。
- E. わたしたちは、砕かれへりくだった霊を持つ必要があります—— 57:15-16. 66:2。
- F. わたしたちは、エホバの御名に信頼し、わたしたちの神に依り頼む必要があります—— 50:10-11。
- G. わたしたちは、わたしたちの愛としての主をもって主を愛することによって、神の深みとしての主を享受する必要があります—— 49:15-16. 64:3-4. I コリント 2:9。

VIII. イザヤは、神の建造のための、キリストにあるわたしたちの奉仕について語っています：

- A. わたしたちは、エルサレムの城壁の上の見張り人となって、召会を祈りの家とする必要があります—— 62:6-7. 56:7。
- B. わたしたちは、キリストの弟子として彼と一になり、教えを受けた者のように語り、聞く必要があります—— 50:4-5。
- C. わたしたちは、キリストと一になり、恵みのヨベルを告げ知らせる必要があります—— 61:1-2. 49:6。
- D. わたしたちは、キリストと一になって養う母となり、神の民を牧養する必要があります—— 14-16 節. 66:12-13. 42:3. I テサロニケ 2:7-8。